

ニュース

新幹線全線開業へカウントダウン

新幹線初披露に6000人が来場



COUNT DOWN 九州新幹線の風景

▲新幹線 N700 系「さくら」を順次見学する参加者

総合車両基地を初の一般公開
「さくら」「つばめ」に歓声



▲新幹線の車内でワンショット



▲新幹線の前で記念撮影する家族連れ

来年3月に全線開業する九州新幹線の総合車両基地見学会が、8月21日と22日の2日間、熊本市富合町の現地で始まった。一般公開の見学会は初めてで、県内を初め全国から募集定員の6倍を超える約3万6000人が応募。今回は2日間で約6000人が来場した。新幹線N700系「さくら」と新800系「つばめ」が展示され、見学者は新幹線の前や車内に入り記念写真を撮るなどして楽しんだ。JR九州と鉄道・運輸機構は今回を皮切りに、基地内に見学コースなどを設け、受け入れ体制を整備するとともに、観光客誘致の切り札の一つにする方針だ。

10年度内供用へ「立野跨線橋」など急ピッチ



▲阿蘇側から見る製作中の「立野跨線橋」。写真手前を豊肥線が走り、その上をまたいで架けられる



急がれる新幹線時代の観光ルート

国道57号立野拡幅工事



▲炎天下の中、立野小付付近で進む舗装工事

▲57号本線横で製作される「立野跨線橋」の上部工。9月にも豊肥線をまたぐ橋の姿となる

熊本市と観光地・阿蘇を結ぶ主要幹線道路、国道57号で南阿蘇村立野地区の拡幅工事が進んでいる。この「立野拡幅」は、南阿蘇村赤瀬―大津町瀬田間6kmの4車線化工事。このうち、阿蘇大橋北側付近とJR豊肥線立野駅西側の約3.6km区間の工事が10年度内供用開始に向け、ピッチを上げている。

阿蘇側の2工区(1.9km)では阿蘇立野病院付近で車転落防止のための防護柵を取り付ける工事が進むほか、大津側の3工区(1.7km)では立野小学校付近で舗装工事が進んでいる。さらに目を引くのが豊肥線をまたぐ「立野跨線橋」(延長70m)の取付工事。付近はこう配があるため、現在道路本線横では水平に保った状態で上部工事が進んでいる。

国交省では同区間の整備効果を最大で26分、通常の休日(13分)の短縮と試算しており九州新幹線全線開業後の阿蘇に向けた重要観光ルートとして期待されるだけに、大津町瀬田地区の拡幅工事の早期整備も望まれている。

3.6km区間を4車線化へ